

「緑立つ道」の進捗状況を空からリポート。

Reported from the sky

「緑立つ道」の工事がどこまで進んでいるのか気になってたんですわ！

京街道から「緑立つ道」へ、道は進化してきました。

社会の要求に沿って道路も変化してきました。

郷土史家 さん
数多くいただいているお問い合わせに応じて、浪速国道事務所調査第一課の平野が、工事の進捗状況をヘリからリポートします。一緒にヘリに乗っていただいた郷土史家の さんは、中学校で社会科を教えておられた先生で、パンフレット「みちをたねて二千年」の編集にお手伝いいただいた郷土史家です。枚方市にお住まいの中島さんは「緑立つ道」の工事状況を目撃確認したかったそうです。



市立枚方宿健屋資料館上空
中島「あの細い路地のような道が大阪と京都を結んでいた京街道です。明治時代に国道になりましたが、クルマ社会に対応できる道ではありませんね」
平野「その横の堤防の道が国道になったのですね」



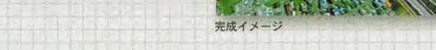
枚方バイパス国道菊丘交差点上空
中島「枚方バイパスができたときは、広い道路だと驚きました。しかし、交通量が増えた今では、それほど広い道とは思えませんね」



平野「緑立つ道」が、国道1号のバイパスです」



交野市私部西上空より京都方面を望む
平野「建物がないところは、『緑立つ道』の建設予定地です」
中島「建設予定地が緑の帯のように続いていますね」



完成イメージ
平野「寝屋川北I.C付近では橋脚の支柱が立って、道路の規模がわかりますね」
中島「現在の高度はどれくらいですか？」
平野「パイロット「約300m、東京タワーくらいの高さです」



寝屋川市新家中上空より京都方面を望む
中島「あの水色の所は何ですか？」
平野「ブルーシートです。文化財調査をしているところです」



完成イメージ
中島「大昔、このあたりは海だったんですよ」



門真市稗島上空から京都方向を望む
中島「門真のあたりは新しい道の大きながちがわかりますね」
平野「門真J.C.T周辺は一部モデル的に整備をしています」



完成イメージ
中島「全線開通したらもう一度空からみてみたい」



明治43年(1910)に行われた淀川埋立堤防改良工事の様子。 舗装された近代道路として昭和7年(1932)に開通した国道2号(現代の主要地方道京都守口線) 「滑走路のように広い道路」といわれた枚方バイパス工事の様子(写真:郷土出版社刊「枚方・交野の100年」より)

淀川の堤を道として利用した平野「昔の人は、大阪と京都をどのように移動したのですか」
中島「太古から淀川の舟運が主に利用されていました。しかし、川沿いの道も利用されていました。本格的な道が造られたのは豊臣秀吉の時代で、大坂城と伏見城を結ぶ最短の道が必要とした秀吉は淀川左岸沿いに文祿堤を造り、その上を道として利用しました」
モータリゼーションが新しい道路を必要とした平野「そういえば、健屋資料館の川側を主要地方道京都守口線が走っていますが、これは枚方バイパスができる前は国道1号でしたね」
中島「第二次世界大戦後、日本経済は急成長し、それに従って本格的なクルマ社会となりました。東京オリンピックの前年、昭和38年(1963)に日本初の高速度道路・名神高速道路ができて以降もクルマの量は増え続け、昭和41年(1966)には枚方バイパスが全線開通し、国道1号となりました」
平野「枚方バイパスが完成したとき、すでに『緑立つ道』の構想があったそうです。まず、必要なバイパスから手がけましたが、これだけではクルマの増加に対応できないとの予測から長期的な視点で整備を進めてきたのです。この『緑立つ道』が国道1号のバイパスになるわけですから、国道1号は京街道から『緑立つ道』へと進化しているとも言えますね」

全国交通網の一つ、京街道
中島「関ヶ原の戦いで天下を取った徳川家康は、全国を治めるために『五街道』を定めました。とくに東海道はもっとも重要な道路で、中でも文祿堤がもたらした京街道は、大名や商人、旅人などで、とてにぎわったそうです。京街道には、伏見宿、淀宿、枚方宿、守口宿があり、これらを足して、東海道五十七次ともよばれています」

改修した堤防の上を走っていた国道
中島「明治になると、さまざまな街道が国道や県道などになり、京街道は国道2号に指定されました。明治から昭和にかけて、淀川の堤防を改良する工事が行われ、それに伴い堤防の上をクルマが走れる近代的な舗装道路にしました。昭和27年(1952)には、国道2号が1号になりました」



京街道の枚方宿「健屋」前

進捗状況と撮影ポイント



着陸

平野「いかがでしたか？」
中島「貴重な体験をさせていただきました。ヘリコプターは、どんな時に使われるのですか？」
平野「搭乗していただいたのは、近畿地方整備局の防災用ヘリコプター『きんぎ号』で、災害時には現地映像を衛星などを使ってリアルタイムに送ることもできます。平常時には施設管理や災害防止のための現地調査などに利用しています」
平野「『緑立つ道』についてどうお考えですか？」
中島「私は枚方市で教職に就いていたのですが、枚方市の中学校では、スキーや遠足にバスをよく利用するので、国道1号の渋滞に巻き込まれることが日常的でした。『緑立つ道』が部分開通して、枚方東I.Cから京滋バイパスや名神高速につながり、スムーズに行けるようになったそうです。ゆっくり出発できますし、到着時間もわかります。全線開通すれば、大阪方面へもっと便利になりますね」

Landing

第7回「緑立つ道」ハイキング 参加者募集!

クルマで走ったり、紙面上で見る「緑立つ道」。普段立ち入れない所に入って、理解を深めてみませんか?お気軽にお申し込みください。

A 現場見学コース
京田辺市松井地区の未開通部分のウォーキングと寝屋川市内の工事現場や文化財調査の現場見学
ウォーキング距離約1km

B ウォーキングコース
八幡市内里地区～京田辺市の松井地区の未開通部分のウォーキング
ウォーキング距離約5km

【日時】平成16年11月20日(土)午後1時～5時(予定)
【集合場所】A:現場見学コース…京阪八幡市駅周辺(予定)
B:ウォーキングコース…京田辺市松井地区の現地集合(JR松井山手駅よりシャトルバス有り)
【募集人数】A:現場見学コース 100名/B:ウォーキングコース 200名(複数のお申し込みも可)
【応募方法】浪速国道ホームページ(<http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa>)にアクセスし、記入フォームに記入して登録していただくか、官製はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号(複数のお申し込みの場合は、代表者を指定)、コース名、ハイキングに対する希望など一言お書き添えのうえ、下記宛先までお送りください。
【募集締切】平成16年10月29日(金)(消印有効)参加希望者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。
当選された方には、詳細について募集室より直接ご連絡させていただきます。
【宛先】〒573-0094 枚方市南中振3-2-3 国土交通省近畿地方整備局 浪速国道事務所
「緑立つ道」編集室45号「第7回 緑立つ道ハイキング」係